

# 山梨県農政部試験研究機関（水産技術センター）課題評価委員会

とりまとめ：大浜秀規

## 1 評価委員

- 委員長 岩田智也 学識経験者  
山梨大学工学部循環システム工学科 准教授
- 委員 羽田金祝 生産者（漁業）  
山梨県漁業協同組合連合会 副会長理事
- 委員 津野正康 生産者（養殖）  
山梨県養殖漁業協同組合 代表理事組合長

## 2 評価委員会

### (1) 第1回 平成26年8月19日（木） 水産技術センター本所

①事前評価課題「低魚粉飼料でのニジマス成長優良系統の選抜試験」 研究員 三浦 正之

課題設定の必要性	5点	魚粉価格が高騰し続けるなか、低魚粉飼料の普及は不可欠であり、社会的ニーズは高い。
課題の新規性、独創性	5点	低魚粉飼料を用いた飼育選抜試験はニジマスでは例はなく、新規性は高い。
目的・内容の整合性、妥当性	4点	目的、内容は概ね妥当であるが、品質やブランドの維持、生産コストの低減なども評価項目に加えた方が良い。
研究手法の的確性、技術的可能性	4点	選抜試験がうまくいかなかった場合の対応策も検討しておいた方が良い。
成果の期待度	5点	県内におけるサケ・マス類の生産量、生産額のさらなる向上を目指す上で、本課題への期待度は高い。
総合評価	5点	山梨県の淡水魚の養殖振興策のひとつとして、本課題に対する期待度は高い。

#### 《試験研究機関の処置》

- 養殖用飼料の低魚粉化を進めていくために、本研究の主題である育種に重点を置きながら、コスト、品質等についても検討して参りたい。また、状況に応じ他系統での選抜効果についても検討を行いたい。